

旧川内庁舎



むつ市議会だより



第15号

- 第245回定例会 …… P 2
- 審議結果および賛否一覧 …… P 4
- 決算審査特別委員会 …… P 5
- 一般質問 …… P 8
- 第159回臨時会 …… P11
- 使用済燃料中間貯蔵施設 …… P12
- 新税調査検討特別委員会
- お知らせ …… P12

令和2年10月26日発行

川内庁舎

第245回定例会

令和2年8月25日～9月9日

むつ市議会第245回定例会が、去る8月25日から9月9日までの16日間の会期で開かれました。今定例会には17議案・2報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定されました。

なお、今定例会では新型コロナウイルス感染症対策のため、決算議案以外の全ての議案等について委員会付託を省略するなど、会期を短縮して行なわれました。

主な議案の説明・質疑

【議案第70号】むつ市特別職の職員で非常勤ものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に準じ、閉鎖時刻の繰上げ等を行なった投票所の投票管理者等の報酬額を従事した時間に応じた額とするほか、選挙長等の報酬額を同法において規定する額に改める等のためのもの。

○質疑 今回の改正は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に準じ、市の条例を改正するものであり、その適用範囲は、県、市など、むつ市で執行される全ての選挙にて適用するものであるとの認識でよいか。

▼答弁 適用範囲については、条例で規定することにより市の選挙管理委員会が執行管理する全ての選挙に適用することになる。

【議案第71号】人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

本年12月31日をもって任期満了となる、坪三子氏を推薦するため提案するもの。

【議案第72号】人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

本年7月31日をもって退任した委員の後任として、川畑恵子氏を推薦するため提案するもの。

【議案第73号】令和2年度むつ市一般会計補正予算（7億2463万円の増額補正）

○歳入の主なもの
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫補助金) 1億8215万円

水道施設整備事業債 3億 750万円

○歳出の主なもの
 緊急雇用創出事業費 1423万6000円

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費 1800万円

宿泊業消費喚起事業費 4500万円

一部事務組合下北医療センター負担金 9008万6000円

水道施設整備事業出資金 3億 750万円

○質疑 商工費、宿泊業消費喚起事業費の詳細および申請対象者になるであろう事業者への説明、周知、市民県民へのアピールを含めた今後のスケジュールは。

▼答弁 スケジュールに関しては、9月中旬に宿泊事業者に向けて割引した宿泊還元プランを作成していただく。宿泊業の実施時期については、10月中にスタートしたいと考えて

おり、周知としては、テレビコマercial、新聞広告、ホームページ、SNS等幅広い媒体を用いて、県内全域へ事前に周知を図ることとしている。キャンペーン期間としては、3月末までの期間として5000泊分を予定している。

○質疑 宿泊費についてホテル、旅館の金額設定がバラバラであるが、もしかしたら5500円を下回るような価格設定をしているところもあると思うが、そういった事業者に対して価格設定の上限、下限を設定しているか。

▼答弁 設定が5500円なので、宿泊事業者によつては下回ることもある。

○質疑 諸支出金、下北医療センター負担金および水道事業費出資金の詳細は。

▼答弁 下北医療センターの負担金では、第1項公営企業費第1目公営企業費には、むつりハビリテーション病院の令和元年度決算の赤字補填として、1799万7千円を計上している。これはむつりハビリテーション病院の管理に関する基本協定書に基づき、指定管理者の下北医師会に対し赤字額を補填するものである。第2目新型コロナウイルス感染症対策費には、生体情報モニタリングシステムなど全12種類6643万円等を計上している。これらの新型コロナウイルス感染症対策については全額が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用している。

水道事業費出資金については、脇野沢地区水道施設整備等に関わる財源として当初、6億1520万円の水道事業債を発行する予定であったが、県と協議をしたところ、整備事業費の2分の1を上限とした合併特別債の

活用が可能となったことから、2分の1の相当額3億750万円を市から出資するものである。これにより借入額全体に対する地方交付税措置率が25%から47・5%に上がることから市の実質負担額が約1億4千万円ほど軽減されることになる。

【議案第74号】令和2年度むつ市介護保険特別会計補正予算

介護給付費負担金等の精算により国、県及び社会保険診療報酬支払基金への返還金が生じたことに伴う1億2805万5000円の増額補正。

【議案第75号】令和2年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算

海水タンクの修繕等に係る120万円の増額補正。

【議案第76号】令和元年度むつ市一般会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 394億4028万5098円
(歳出総額) 391億8752万9057円
(翌年度へ繰り越すべき財源) 7140万2813円

(黒字額) 1億8135万3228円
※黒字額は翌年度に繰越

【議案第77号】令和元年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 61億8558万2236円
(歳出総額) 59億1890万6667円
(黒字額) 2億6667万5569円

※黒字額は財政調整基金に積立

【議案第78号】令和元年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 5億4144万1121円
(歳出総額) 5億3375万6721円
(黒字額) 768万4400円

※黒字額は翌年度に繰越

【議案第79号】令和元年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 17億7941万1193円
(歳出総額) 17億7941万1193円

【議案第80号】令和元年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 4552万3812円
(歳出総額) 4552万3812円

【議案第81号】令和元年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 66億 573万3065円
(歳出総額) 64億3038万5824円
(黒字額) 1億7534万7241円

※黒字額は財政調整基金に積立

【議案第82号】令和元年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算(決算審査特別委員会に付託)

(歳入総額) 799万1742円
(歳出総額) 799万1742円

【議案第83号】令和元年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について(決算審査特別委員会に付託)

(未処分利益剰余金) 2億4217万9589円
(純利益) 1億3154万3663円
(残額) 1億1063万5926円

※純利益を減債積立金に、残額を資本金に組み入れるもの

【議案第84号】令和元年度むつ市水道事業会計決算(決算審査特別委員会に付託)

(水道事業収益) 17億6981万 203円
(水道事業費用) 15億8356万2019円
(純利益) 1億3154万3663円

※純利益は消費税および地方消費税を除いたもの

(資本的収入額) 7億2000万7300円
(資本的支出額) 14億1053万4354円
(不足額) 6億9052万7054円

※不足額は過年度分損益勘定留保資金等で補填

【議案第85号】むつ市事業所における感染症対策の推進に関する条例

市内の事業所における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図り、もって市民の皆様の生命および健康を保護し、並びに市民生活及び市内経済におよぼす影響を最小とするためのもの。

【議案第86号】令和2年度むつ市一般会計補正予算(7680万円の増額補正)

◎歳入
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫補助金) 7680万円

◎歳出
プレミアム付商品券事業費 7680万円

【報告第18号】令和元年度むつ市健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員の意見を付けて報告するもの。

【報告第19号】令和元年度むつ市公営企業会計資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、監査委員の意見を付けて報告するもの。

討論(反対討論)

次の4議案に対し、反対討論がありました。

○議案第76号 令和元年度むつ市一般会計歳入歳出決算

○議案第78号 令和元年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

○議案第79号 令和元年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算

○議案第85号 むつ市事業所における感染症対策の推進に関する条例

議案説明・質疑・討論

主な議案の内容についての説明と、その議案に対する質疑と答弁および討論についてご紹介いたします。

第 245 回定例会審議結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	議決結果	新風むつ			市誠クラブ			自民クラブ			未来への轍			公明・自由		会派に属しない議員							
			齊藤孝昭	山本留義	富岡幸夫	佐賀英生	東健而	野中貴健	浅利竹二郎	佐々木肇	大瀧次男	濱田栄子	佐藤広政	原田敏匡	岡崎健吾	佐々木隆徳	富岡直哉	村中浩明	鎌田ちよ子	白井二郎	住吉年広	佐藤祥子	工藤弘樹	杉浦弘樹
70	むつ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(坪二三子氏)	可決	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(川畑恵子氏)	可決	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	令和2年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和2年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和2年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	令和元年度むつ市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
77	令和元年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	令和元年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	令和元年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	令和元年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和元年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和元年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和元年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和元年度むつ市水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	むつ市事業所における感染症対策の推進に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	令和2年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案賛否一覧

今定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します。

報告	報告の名称	報告のみ
18	令和元年度むつ市健全化判断比率について	※報告のみの案件は、市当局から報告を受けるもので賛否を明らかにするものではありません。
19	令和元年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	

※議決日は議会最終日の9月9日(ただし議案第70号から第75号までは9月3日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、『退』は退席、『除』は除斥、議長(大瀧次男)は採決に加わらない



決算審査特別委員会
佐藤広政 副委員長



決算審査特別委員会
白井二郎 委員長

令和元年度むつ市一般会計歳入歳出決算ほか

各会計決算議案を可決・認定

決算審査特別委員会が9月3日、4日および7日に開催されました。

令和元年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の各決算等は、議長および議会選出の監査委員を除く全議員で構成された決算審査特別委員会で審査されました。

決算審査特別委員会の審査結果は、一般会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算および下水道事業特別会計歳入歳出決算について、それぞれ特別委員1名より反対討論がありました。賛成多数で認定すべきものと決定し、ほかの特別会計決算等については、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。

【一般会計】

歳入	394億4028万5098円
歳出	391億8752万9057円
差引	2億5275万6041円

※翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支(黒字)額は
1億8135万3228円

【むつ市健全化判断比率】

実質公債費比率	16.1(25.0)%
※昨年度決算	16.6(25.0)%
将来負担比率	150.9(350.0)%
※昨年度決算	157.8(350.0)%

※()内の数字はむつ市の早期健全化基準を示す

【用語解説】

- ・実質公債費比率…その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ・将来負担比率…借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの

主な質疑と答弁(一般会計)

◎歳出について

【総務費(企画費)】

○質疑 ふるさと納税に対する返礼品の農産物、海産物、加工品等の割合とそれによつての市内への経済影響は。また、返礼品の新商品開発はどのようになっているのか。

▼答弁 令和元年度の返礼品のランキングは、1位ヒバ製品、2位ホタテ商品、3位海峽サーモン、4位マグロ、ウニ、5位海産物になっており、海産物の返礼品の割合が高くなっている。また、1億5千万円ほどのふるさと納税寄付金の3割程度が地域に還元されていると思われる。新商品については、毎年事業者と話し合いをして返礼品に取り入れている。

【総務費(コミュニティ推進費)】

○質疑 コミュニティ助成事業に22件の申請があったが、2件のみの採択となったのはなぜか。

▼答弁 2件は柳町町内会、金谷町内会であるが、採択に関しては自治総合センターが行なっており市としては内容を把握していない。

○質疑 コミュニティ助成事業費の予算を多くとっているのはなぜか。また申請のスケジュールは。

▼答弁 事業の決定時期が4月早々にあり、事業決定後速やかに事業を開始しなければならぬため、申請全ての件数を予算計上している。また、スケジュールについては、翌年度に実施する事業実施の希望を9月中に町内会に確認し、希望のあった団体の事業の見積もりを積算して県に提出し、県から自治総合センターに提出することになっている。

【総務費(男女共同参画費)】

○質疑 昨年度の男女共同参画活動内容は。

▼答弁 第2次むつ市男女共同参画推進後期実施計画の策定のため、推進委員会を開催している。

3月に予定していた男女共同参画フォーラムは新型コロナウイルス感染症のため、残念ながら中止している。

【総務費(地方創生関連交付金事業費)】

○質疑 ぐるりん下北号と着地型商品の実績は。

▼答弁 昨年度の運行実績は65回821名、着地型旅行商品に關しては、本数が14本であり、内容としては「ジオ体験ツアー」「ジオダイニング」という商品になっている。



下北ジオパークのひとつ
斗南ヶ丘ジオサイトからの風景

【民生費(交通安全対策費)】

○質疑 カーブミラーの要望数と設置実績、設置の基準は。

▼答弁 新規要望数は20件であるが、それ以前の要望が36件あり、昨年度の新設、設置件数は12件となっている。また、設置基準であるが、交差点の見づらさや交通量の多さ等について市職員が現地調査をして優先順位を決めている。

【民生費(生活保護総務費)】

○質疑 就労支援事業の内容と実績は。

▼答弁 稼働年齢層にあり就労に対する阻害要因のない方については、むつ公共職業安定所と連携するなどして、自立支援プログラムにより面接に至るまでの支援をしている。36名が就労支援を受け、10名が就労に至り、3名が自立している。

【衛生費(健康増進費)】

○質疑 健康マイレージ事業の取り組みと市民の反響は。

▼答弁 むつ市の文字を取り「むりなくつづけてしゅうかんに」をキャッチフレーズに健康づくりの一環として実施している。内容はチャレンジシートやスマホアプリで一定の健康プランにチャレンジ

してもらい、達成者に対しては健康マイレージカードを発行している。また、令和元年度には数人でグループを作りチャレンジするスマホチームチャレンジを開催している。利用者からは、運動習慣が身についたなどのお声をいただいている。

【衛生費(予防費)】

○質疑 後期高齢者のインフルエンザ接種率が57・1%にとどまっているのはなぜか。

▼答弁 予防接種においては個人の発病および重症化の予防に重点を置き、接種を希望する方のみを実施されるもので、接種の努力義務を課せられていないためである。

【衛生費(母子衛生費)】

○質疑 特定不妊治療費助成事業の申請数が26件に対して、実人数が15人となっているのはなぜか。また実際にお子さんを授かった方はいるのか。

▼答弁 治療の経過などあったものと推察されるが、詳細については把握していない。また、特定不妊治療を受けてのその後に授かった方は把握していない。

【農林水産費】

○質疑 全体的に不用額が多いような気がするがなぜか。

▼答弁 農業においては次世代人材投資事業ということで、新規就農者に対して事業が成り立つまでの間の生活費として国からの補助金を交付している。実際の給付者よりも多くを見込み、急ぎよ経営する方にも対応できるように予測して予算化したためである。畜産鳥獣に関しては、ほとんどが人件費であり、中途退職者の賃金の不用額となっている。

【土木費(コンパクトシティ推進費)】

○質疑 安全・安心見守りカメラの設置台数、監視体制と設置場所の選定基準は。

▼答弁 設置場所は小川町地区の民間事業者の土地を活用して2台設置している。監視体制については、撮影した記録データを必要時に活用していくということになっている。設置場所の選定に関しては、今回は事業者の提案であり、通学路等の一定の要件を満たしていたことから設置に至ったものである。

【教育費(義務教育振興費)】

○質疑 小中一貫で配置されている非常勤講師の人数と勤務体系は。



▼答弁 中学校9ブロックに対して、各ブロックに1名ずつ配置している。学力の向上と生徒指導の充実を図るため、乗り入れ授業、小学校高学年の一部教科担任制チームティーチングによる細やかな指導をお願いしている。

◎歳入について

【市税】

○質疑 多額の収入未済額が出ているが、この対策等はどうなっているのか。

▼答弁 納税者個々の実状把握に努めながら徴収対策を進めているが、一度滞納となり重複してくと納付が難しくなるため、重点的に新規の滞納者を増やさない

ということを行なっている。具体的には、相談窓口の開設や毎月の納税週間等を設定して、納税の確保に努めているところである。

【地方譲与税】

○質疑 森林環境譲与税はどのように使われているのか。

▼答弁 むつ市森林GIS運用事業に30万5000円、森林経営管理事業に48万4000円、林道補修事業に608万3000円、漁師の森整備事業に66万円、大畑庁舎移転事業に299万1000円、そのほかむつ市森林環境譲与税基金に1106万2000円を積み立てている。

【財産収入】

○質疑 物品売払収入の収入未済額について2年前にも同じ金額が載っているが、2年間の検討内容について伺いたい。

▼答弁 引き続き検討をし、滞納者にも定期的に状況を確認しているが、具体的な進展までは至っていない現状である。

主な質疑と答弁(特別会計)

◎令和元年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 国保税の未収納者に対する対策は。

▼答弁 現年度の収納率については93・4%になっており、それに対して過年度分の収納率は13・66%となっているので、現年度滞納をできる限り防ぐ方法をとっている。なお、平成29年度より滞納整理機構に外部委託をして、徴収についてお手伝いしていただいている。

◎令和元年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算

○質疑 償還金について、返還の基準はどうなっているのか。

▼答弁 保険給付費において、国の示す計算方法により、負担金を見込んでいるが、前年度の保険給付費の伸び率等が見込みを下回るることによって返還しなければならぬものである。

ここが聞きたい!

一般質問

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。

前回定例会と同じように、今回の一般質問も「国内における重大な感染症の拡大状況下におけるむつ市議会の運営方針」にもとづき、会派単位で時間制限を設定し、10人の議員が各種の行政課題を取り上げて活発な論戦を展開しました。

一般質問

一般質問の内容を一部要約してご紹介します。



未来への轍
村中浩明

問 国道338号大湊II期バイパス事業及び用地取得の進捗状況と今後の見通しについてお伺い致します。

答 進捗状況について青森県よりお伺いしたところ、令和元年度末での事業の進捗率は約69%、用地取得の進捗率は面積ベースで約79%となっております。現在の工事状況は昨年度より国道338号と県立大湊高校を結ぶ市道釜臥線の付け替え工事を実施しており、今年度も桜木町地区の工事をすすめている。事業の完成見通しは現時点では明確な時期を示すことはできない。市といたしましては早期完成に向けて青森県に対し引き続き要望していく。

問 成人式について、障害のある方の出席状況と受入れ体制はどのようになっているのかお伺い致します。

答 令和2年成人式には7名の方の出席がありました。受入れ体制としては式典会場に体の不自由な方のための席を準備しており、すほか、令和2年成人式からは、会場に入れない方のための別室を準備するなど、障害のある方が出席しやすい環境づくりにつとめています。



未来への轍
原田敏匡

問 財政中期見通しの策定時期について。

答 むつ市財政中期見通しは、例年であると9月の市議会定例会に合わせて公表しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、国の概算要求が1ヶ月延長されるなど地方財政に対する方針が示されておらず、歳入の見通しが不確定な事から、策定には至っておりませんが、令和3年度の予算編成方針の公表の前までに策定する予定で現在、作業を進めています。

問 本年度見送った事業等の来年度の取扱いなど、来年度予算編成に当たつての考え方について。

答 来年度においても、むつ市内のイベント、他地域でのイベント、出張や研修など、あらゆるものにコロナの影響があるものと考えられます。一方でコロナとの付き合い方についても常に変化があり、新しい生活様式そのものが正しいかどうか、また、新たに項目が追加されるかどうかという事については、現時点で予測が困難なところです。ただ、来年度の事業等の取扱いについては、少なくとも予算編成時における国の示す方向性に則って考えて参ります。



無会派
杉浦弘樹

問 県内でも一番広い行政面積を有しているむつ市において、高校の通学費は通学距離が長いほど家計への負担は非常に大きい。現状はコロナ禍で、市内の経済状況が非常に不安定な状況で雇用も同様である。コロナ禍で高校生を持つ保護者の多くが今後の生活に不安を抱える中で、地域別で大きく差がある高校通学費について、市では家計や教育環境へ与える影響についてどのように考えているか。

また、通学費支援は考えているか。

答 高校通学費が各家庭の家計や教育環境に対し、どの程度の影響を及ぼしているかを把握し、支援することは、高等学校の設置者である県が果たすべき役割だと認識している。



自民クラブ
濱田栄子

問 経済再生について。

市民の皆様へ感染対策をしつかりとお願ひしながら、冷静な心をもって、地域の会合やイベント等、経済活動を推進すべきと思うが、新型コロナウイルス感染症防止と地域経済活性化とのバランスについて、どのようなお考えか伺います。

答 事業者の皆様へ経済活動の再開に当たっては、市民の皆様が安心して利用できる環境づくりが最も重要と考える。国が公表する業種ごとの感染症対策ガイドラインに基づき、市の保健師が事業者の皆様と一緒に確認して取り組む「むつ市感染症対策あんしん飲食店等認定制度」を実施している。観光業の振興を行なうに当たっては、事業者の皆様と市民の皆様が安心して、笑顔で観光客の皆様を迎えられるよう準備を整えることとしている。イベントに関しては県の「感染症対策アドバイザー」を活用していただきたいと思っている。市としてはモデルイベントの実施を検討している。

※このほか、SNSを活用した「国際交流の推進について」、「移住支援金について」の質問がありました。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 むつ市政を担い二期目折り返しを迎え、期することは何か。

答 何よりも政策の成果・結果に拘っていかねければと、強く認識している。特にこの一年は、もとより予定していた多くの事業が出来なくなってしまった。残りの任期は、この一年を取り戻すこともそうだが、様々な事業を仕上げていく必要がある。

問 コロナ禍が世を覆っている。アフター（ウイズ）コロナが市民生活及びむつ市政にどのような変革をもたらすと考えるか。

答 この変化を主体的に捉えれば、IoT、ICT、AIという人類が新たに共存すべき先端技術を大いに受け入れるチャンスだとも考える。お年寄りが置き去りにされるような議論になりがちだが、私は決してそうは思わない。むつ市は民間企業と連携し、単身高齢者宅のトイレに「IoT電球」を取り付け、点灯記録から異常を察知するシステムを導入した。このことが日本の標準になれば、新しい高齢者見守り方法を全国自治体、遠隔で暮らす家族が手にすることができる。

※このほか、「人口減少時代における下水道事業の在り方について」の質問がありました。



市誠クラブ
東 健而

問 新型コロナ禍の中の行政デジタル化の問題について。

答 (1) 光回線整備について伺う。

答 当市の光回線整備は平成21年度国の交付金を受け、当時未整備地区だった川内地区、大畑地区、脇野沢地区、関根地区へ整備し、平成22年度には市内全域に整備が完了し、現在利用可能な世帯カバー率は99・96%となっている。

行政デジタル化推進は。

答 (2) 市では自宅のパソコンから国税電子申告・納税システムや、各種登記手続が出来る登記・供託オンライン申請が出来るほか、各種検診など市民が必要な行政サービスを受けることが出来るように、更にサービスの向上を目指しデジタル化に努めていく。

(3) ICT社会と教育について。

答 国が掲げる「Society 5.0」の実現に向けて、ギガスクール構想の実現、1人1台のパソコンを配布、ネットワーク環境を整備、児童の学びの改革を実現、ICT社会における教育にあっては、学校とは何か、教師とは何か、教育行政とは何かという原理的な問いかけの答えを子供達のために教育関係者一丸となって育んでいく必要があると認識している。



市誠クラブ
佐賀英生

問 新型コロナウィルスについて

(1)生活保護申請について、(2)接触確認アプリ(COCA)の推進・啓蒙について、(3)小中学校の修学旅行について。

答 (1)昨年度と比べても低く推移しており、影響は少ないものと考えている。

(2)7月の臨時会で本アプリの活用を推奨する旨報告したところであり、ホームページおよびツイッターで周知している。

(3)本年度については、保護者からの承諾をいただき、11月中旬までに市内全ての小中学校での日帰りから2泊までの日程で行なわれる予定となっている。

問 防災行政用無線の放送基準および難聴地域解消のため合図を入れている放送について。

答 基準は、国民保護に関する情報や、熊などの目撃・選挙広報・イベントの開催など。現在、放送機器をデジタルに替えるために、全市において取り替えを行なっていく方向である。

※このほか、新型コロナウィルスに係る「商工業者の倒産・廃業について」、「市内の経済低下について」、「今後の経済について」の質問がありました。



無会派
佐藤 武

問 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）が施行された。教員の長時間労働は極めて深刻化しており、学校教育の中で教育成果を維持し、向上させるためには教師の働き方を見直し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことが急務であるとした。一年間の変形労働時間制を導入するには、前年度における超過勤務時間が月45時間、年360時間を下回ることが前提ですが、給特法の具体化の現状と教員の長時間過密労働解消の関わりについて伺います。

答 本年3月に「教職員の時間外労働等の縮減に関する指針」を一部改訂し、時間外労働等の上限の目安や時間外労働縮減のための方策を示し、「教職員勤務時間記録簿」で持ち帰り業務時間も含めて時間外労働時間を管理している。毎週水曜日を「定時退校日」とし、定時退校日及び週休日のいずれか一日を「ノー部活デー」とすること、管理職による声かけ、完全退校時間を設定する等、時間外労働の把握に取り組んでいる。変形労働時間制については、県教委の動向、教職員の勤務実態や各校の実情を踏まえて導入の可否を検討する。



無会派
工藤 祥子

問 路線バス川内湯野川線の朝便の時刻が今年4月から遅くなりJRバスへの乗り継ぎが出来ず旧むつの医療機関への通院が不便になったという声が出ている。間に合うように、バイク等利用、タクシー予約、知人に頼む等苦勞している。5月末、5地区会長の署名も添えて住民と共に要望書を市と交通業者宛に提出、7月には5人の地区会長、交通業者、市交通政策課で意見交換会をしている。その中でこの先運転出来る人がいなくなる、通院の負担が増えて病院にかからない人が出てくる、バスを利用して欲しい等の発言があったと聞いている。そこで週に1、2回でも乗り継ぎ出来る前の時刻に戻して欲しいと質問する。川内診療所に通院している人は待ち時間が短くなったと喜ぶ声もあるが、乗り継ぎ出来ない方が重大である。

答 利用者数が4月から7月までの比較で、昨年度534人に対し今年度は553人と19人増加している。これも踏まえながら今後、運行改善を検討したい。

※このほか、「交通弱者へのタクシー割引支援について」の質問がありました。



新風むつ
斉藤 孝昭

問 今後、コロナ禍における行政運営をどのように進めるのか市長の所信を伺う。

答 令和2年度の下半期においては、コロナ禍の様々な制約を受けつつも、機動性に優れたODAの発想のもと、それぞれの施策を一步一歩進め、新たな年度を希望をもって迎えられるようしっかりと仕上げたい。ODAは、観察・方向付け・意思決定・実行の4つのサイクルにより、どんな先の見えない状況の中でも迅速に意思決定を下し、迅速に行動に移すための手法。

問 むつ市総合経営計画ならびにむつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略への影響と、今後の見直しを含むコロナ禍における進め方についてお示し下さい。

答 現在、危機対応の渦中であり、新型コロナウイルス感染症による影響の全容が見通せないことから、現計画を即座に見直す段階ではない。総合経営計画の個別の事業については、令和3年度予算編成の中で、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた見直しを行なう。むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略も同様に考える。

一般質問の音声データを掲載しています

【むつ市議会ホームページ】



むつ市議会では、本会議場での一般質問のようすを皆さんに聴いていただくために、一般質問の音声データをホームページで公開しています。

掲載期間は、一般質問を行なった日から会議録が掲載されるまでの間となっていますので、議会傍聴の時間がないときなどにご利用ください。

※音声の再生の際にはデータ通信料が発生します

第159回臨時会

令和2年7月31日

むつ市議会第159回臨時会が、去る7月31日に開かれました。臨時会では議員提出議案を含む議案3件および報告2件が上程され、審議の結果、それぞれ可決・承認されました。

主な議案の説明・質疑

【議案第68号】財産の取得について

GIGAスクール構想の実現に向けた環境を整備するため、市内各小中学校にタブレットパソコンを配備するもの。

○質疑 タブレットパソコンの配備に係る納期について。

▼答弁 今般国からの補助が示されたことにより、全国で同時期に端末の発注が殺到していることから、納期を令和3年3月31日としている。ただし、納品については、準備が整い次第納入とし、仕様書において令和2年12月28日までに5000台以上を納入することを条件としており、納入された場合はその都度各学校に順次配備予定となっている。

○質疑 学校への指導、サポート体制について。

▼答弁 端末や通信環境の整備状況にもよるが、タブレット端末の使用方法等について先生方を対象とした研修会を開催する予定となっている。

【議案第69号】令和2年度むつ市一般会計補正予算
(1億2390万1000円の増額補正)

◎歳入

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金
(国庫支出金)
1億2390万1000円

◎歳出

感染症発生施設等消毒作業支援
事業費 1000万円
農業産地化・畜産業未来・林業
持続化・漁業持続化応援給付金
事業費 4391万9000円
観光施設等感染予防対策支援
事業費 3900万円
下北地域教育旅行助成事業費
600万円
避難所感染症対策事業費
2498万2000円

○質疑 各支援事業、給付金事業の申請に係る詳細について。

▼答弁 それぞれについての申請方法、申請開始日、給付の開始申請期限、事業の周知方法等の説明がなされた。

【報告第16号】専決処分した事項の報告について

第153回臨時会で議決を経たむつ市総合アリーナ建設工事について、工事内容の一部を変更し、契約金額を変更したものの報告

【報告第17号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和2年度むつ市一般会計補正予算)

新型コロナウイルス感染症に係る、ひとり親世帯臨時特別給付金を速やかに支給するため、8802万1000円を増額補正したもの。

【議員提出議案第4号】新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
国に対して、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望するものである。

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理・合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
5. とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

【全会一致で可決した議案】

議案	議案の名称	議決結果
68	財産の取得について(GIGAスクール構想の実現に向けた環境を整備するため、市内各小中学校にタブレットパソコンを配備するもの)	可決
69	令和2年度むつ市一般会計補正予算	可決

【全会一致で承認された報告】

報告	報告の名称	議決結果
17	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和2年度むつ市一般会計補正予算)	承認

議案	議員提出議案の名称	議決結果
4	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決

報告	報告の名称 ※報告のみ(報告のみの案件は、市当局から報告を受けるもので賛否を明らかにするものではありません)
16	専決処分した事項の報告について(工事請負契約の一部変更契約について)

※議決日は7月31日、議長(大瀧次男)は採決に加わらない

